


1台のプリンター共有 ■ 複数PCから印刷

LANや無線LANといえは、インターネットにつながるための通信手段というイメージがあるかもしれません。しかし同じLANや無線LANに接続する機器同士で、データのやりとりをするのにも使えます。今週は、1台のプリンターを複数のパソコンから印刷できるようにする「プリンターの共有」を解説します。プリンターが直接つながっていないパソコンからも印刷できるようになり、便利です。（ライター 猪狩友則）

てく生活入門


 パソコンは複数あつても、プリンターは1

ウズもそのプリンターに対応している必要があります。

台という家庭は多いはず。大半は特定のパソコンにUSBなどで接続されていて、そのパソコンでしか印刷できないのはいではないでしょうか。「プリンターの共有」を使えば、同じLAN内の別のパソコンからも印刷できるようにになります（図左上）。

ネットワークの設定はパソコンによってさまざま異なるため、すべてのケースでうまくいく方法は、この紙幅では解説できません。最も標準的な場合を以下で説明しますが、うまくいかないケースもあることを承知しておいてください。

プリンターがつながったパソコン経由で印刷するので、そのパソコンの電源を入れておく必要があります。手順は、まずプリンターが接続されたパソコンでプリンターを共有する設定をし、次にLAN上の別のパソコンで印刷できるようにするとい

 設定自体は難しくありません。プリンターが接続されているパソコンでプリンターのプロパティ画面を開き、「共有タブ」で「このプリンターを共有する」にチェックを入れます。ウィンドウズビ

う2段階。プリンターがつかっていないパソコンのウィンド


ウズでは「ネットワーク」を開きます（図右上）。

プリンターがつかっていないパソコンでは、まずマイネットワーク（ネットワーク）などから、プリンターがつかっているパソコンを開きます。ネットワーク一覧に表示されないときは、プリンターがつかっているパソコンを「コンピュータ1名」を使って直接指定しましょう。コンピュータ名は図3の方法で確認できます。

プリンターがつかっているコンピュータ名を仮に「asahi」にします。プリンターのつながっていないパソコンで「コンピュータ」（またはマイコンピュータ）フォルダーを開き、アドレス欄に「asahi」を入力すれば表示されます。共有されたプリンターのアイコンが表れ、ダブルクリックで利用できます。ドライバが要求されることがあるので、プリンター付属のディスクや、メーカーのウェブページからダウンロードしてインストールしましょう。

前述した通り、この方法ですべてうまくいくとは限りません。相手のパソコンを開こうとするとユーザー名とパスワードが要求されることもあります。

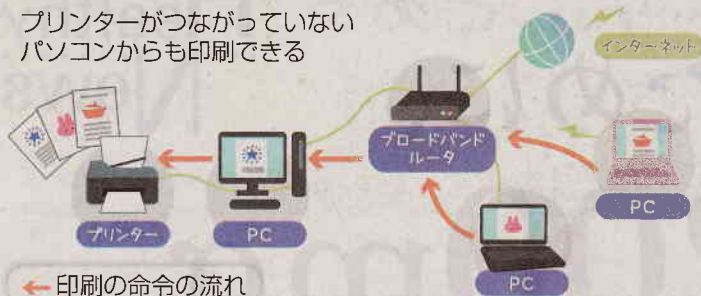
主にプリンターがつかっているパソコンの設定変更で回避できますが、新たにユーザーを作る方がよい場合もあります。

 1台のパソコンを起動させ続けることに抵抗があるなら、プリントサーバーなどを利用していいでしょう。USBをイーサネット（LAN端子）に変換するUSBデバイスサーバーなどもあります。これらを使うと、プリンターをブロードバンドルーターに直接接続でき、若干の制限はあるものの、複数のパソコンから1台のプリンターを利用できます。LAN端子や無線LANが内蔵されているプリンターなら、共有などの設定を特になくても、複数のパソコンから印刷できます。

ウィンドウズでは「ネットワークプリンター」という言葉が出てきますが、これは他のパソコンにつながっていて共有されたプリンターを指します。たとえばLAN端子や無線LANを使ったとしても、他のパソコンを経由しなければ「ローカルプリンター」と呼びます。次回は、ファイルの共有について解説します。

家の LAN で 1 台のプリンターを共有

プリンターがつながっていない
パソコンからも印刷できる



プリンター共有の手順



ウィンドウズ 7.....[7]
ウィンドウズビスタ.....[ビスタ]
ウィンドウズ XP.....[XP]

プリンターが接続されているパソコンで

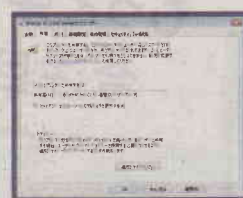
1 プリンターのプロパティを開く

[7] は「スタートメニュー」から「デバイスとプリンター」を選び、共有したいプリンターを右クリック。「プリンターのプロパティ」を選択

[ビスタ] は「コントロールパネル」から「プリンタ」を選択、共有したいプリンターを右クリックし「プロパティ」をクリック

[XP] は「コントロールパネル」から「プリンタとその他ハードウェア」の「プリンタと FAX」を選択。共有したいプリンターを右クリックし「プロパティ」をクリック

2 共有の設定



「共有」タブを開き「このプリンタを共有する」にチェックを入れる。またわかりやすい共有名にする

3 コンピューター名を確認

「コンピューター」([7]) や「コンピュータ」([ビスタ])、「マイコンピュータ」([XP]) を右クリックし「プロパティ」を選択。[ビスタ][7] は表示された画面で、[XP] なら「コンピュータ名」タブで確認できる

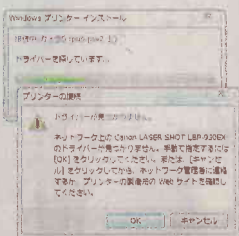


コンピューター名: lgari-7-home-PC

LAN 経由で印刷できるようにしたいパソコンで

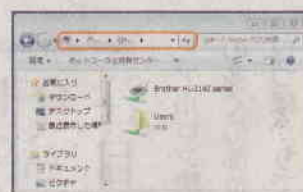
5 プリンターを使えるようにする

共有されているプリンターが表示されるので、ダブルクリック。別途ドライバーが必要なこともある



4 プリンターを共有しているパソコンを開く

「コンピューター」(コンピュータ/マイコンピュータ)を開き、アドレスバーに「¥¥<コンピュータ名>」を入力する。または、ネットワークやマイネットワークから開く



¥¥<コンピュータ名>
をアドレスバーに入力

ファイルを共有する ■ ビスタと7の設定法

前回はLAN内のパソコンに接続されたプリンターを、他のパソコンから使う方法を説明しました。今回と次回は「ファイルの共有」。あるパソコンに保存されたファイルに、LAN内の他のパソコンからアクセスできる仕組みです。USBメモリなどを使わなくても、別のパソコンにファイルを簡単にコピーでき、バックアップにも使えます。今回はウィンドウズビスタと7について解説します。

(ライター 猪狩友則)

てく生活入門



ファイルの共有とは、特定のフォルダーを他のパソコンから見たり編集したりできるようにする仕組みです。これを使うと、LAN上の別のパソコンのファイルが、あたかも自分のパソコンにあるファイルのように扱えます。

「ファイルの共有」と呼ぶものの、設定はフォルダーに対して行います。共有設定したフォルダーに保存されたファイルがやりとりできるようになるわけです。共有設定したフォルダーの中に、さらにフォルダーを作るといったことも可能です。ドライブまるごと共有することもできますが、トラブルの原因にもなるので、必要なフォルダーだけ共有する方が無難です。

ウィンドウズビスタと7は「パブリックフォルダー」の設定を有効にすることで、手軽にファイルを共有できます。設定によって、LANでつながっているパソコンから自由に利用できるようになります(図上)。

LAN以外にも、1台のパソコンを家族ごとにユーザーアカウントを分けて使っている場合も、パブリックフォルダーを使えば、異なるアカウント間でファイルをやりとりできます。



ウィンドウズ7では、さらにホームグループという仕組みが用意されました。7同士であれば、共通のパスワードを設定するだけで、お互いの「ピクチャー」や「ドキュメント」などのフォルダー

を共有できるようになります。先週紹介したプリンターの共有も可能です。

パブリックフォルダーもホームグループも、エクスプローラー(マイコンピュータまたはコンピュータなどを開いたときに表示されるウィンドウ)左側の操作領域(ペイン)から簡単にアクセスできます。

任意のフォルダーを共有することも可能です。フォルダーを右クリックして「プロパティ」を開き、「共有」タブで設定します。さらに「共有」ボタンをクリックして、どのユーザーがアクセスできるようにするか指定します。「Everyone」を選べば、誰でもアクセスできるようにになります(図下)。

「パスワードの保護」を無効にしなかった場合、他のパソコンからアクセスしたとき、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。これは前述のパブリックフォルダーでも同様です。入力するユーザー名とパスワードは、共有の設定をしたパソコンに登録してあるユーザーアカウントです。

自分のパソコンに共有設定をしており、他のパソコンからも

自分がファイルを取り出せるようにするためなら、パスワードの保護は有効にしておけばOKです。



自分のパソコンに保存してあるファイルを、家族がそれぞれ使っているパソコンから見られるようにする場合は、ケースによって対応が変わります。

一つは前述のようにパスワードの保護を無効にする方法。特に秘密にしておくファイルがないのであれば、ユーザー名やパスワードも入力せず、家族全員が利用できます。

一方、お父さんのパソコンのファイルを、お母さんは見られるけれど、子どもは見られないようにしたいなら、共有専用のユーザーアカウントを別途作成しておくとういでしょう。もちろん、お父さんのパソコンのユーザー名とパスワードをお母さんが知っているれば問題ないのですが、それではパソコン自体まで自由に使えてしまいます。夫婦間ではそれもいいかもしれませんが、職場や友人同士であれば問題があります。

来週はウィンドウズXPでのファイル共有を解説します。

LAN内のパソコンで ファイルを共有

(ウィンドウズビスタと7編)

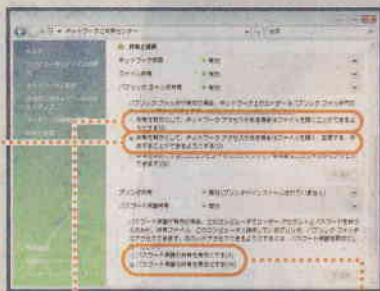


パブリックフォルダーで手軽に共有

共有するフォルダーのあるパソコンでの操作

ウィンドウズビスタの場合

コントロールパネルから「ファイル共有の設定」を選択。「ネットワークと共有センター」が開くので、「共有と探索」を設定する

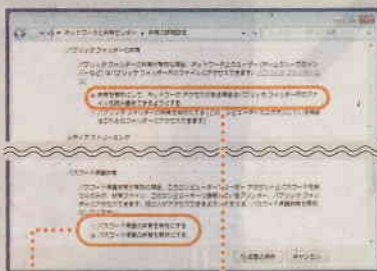


ファイルの読み出しのみ可能

ファイルの変更や追加も可能

ウィンドウズ7の場合

コントロールパネルから「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択。「ネットワークと共有センター」が開くので、左側にある「共有の詳細設定の変更」をクリック

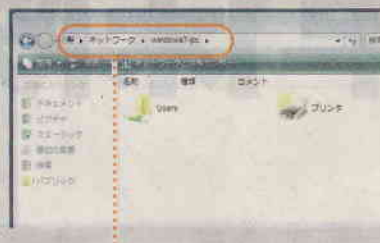


「無効」にすると誰でも自由にアクセスできるようになる

ビスタと異なり、読み出しのみの設定はできない

ほかのパソコンでの操作

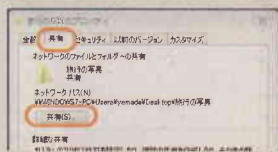
パブリックフォルダーを利用できるようにしたパソコンの「コンピューター名」を「¥¥」に続いて、アドレスバーに入力すると、パブリックフォルダーを開くことができる



コンピューター名が「asahi-pc」だとしたら「¥¥asahi-pc」と入力する

任意のフォルダーを共有 (通常のファイル共有を利用する)

共有したいフォルダーを右クリックし、「プロパティ」を選択



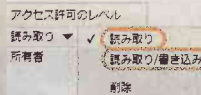
「共有」タブを選び、「共有」ボタンをクリック



誰からでもアクセスできるようにしたい場合は「Everyone」を選択し、「追加」ボタンをクリック

ウィンドウズ7の場合

開くだけ(読み取り)か、編集できるようにする(読み取り/書き込み)か選択



ウィンドウズビスタの場合

開くだけ(閲覧者)、すでにあるファイルを開くことと新規ファイルの作成(投稿者)、すでにあるファイルの編集も可能(共同所有者)から選択

「共有」ボタンをクリック